



研修の様子を紹介します

中堅教諭等資質向上研修（高等学校）

本研修は、教職経験13年目の教員を対象に学校運営の参画に向けた資質・能力の向上や、生徒理解・生徒指導についての専門的知識・技能を身に付ける目的で実施されました。

学校組織マネジメントの講義・演習では、数人ずつのグループに分かれ「働きがいのある職場（学年集団）とは」というテーマで議論を行いました。活発な議論をとおして、ウェルビーイングの視点を踏まえた組織経営についての理解を深めました。

今後は、本県の教育課題の理解や教科指導力の向上、コース別課題研究をとおした組織を動かすリーダー性の素地の養成を図っていきます。

受講者の声

- ・職場における自分の役割と、周囲にどのような影響を与える必要があるかを考えることができた。
- ・多様な考えから学び、今後の学年経営等に活かせるポイントにも気づくことができた。

大学教授による講義



講義を踏まえた演習



通級指導等担当研修

本研修は、言語障害、発達障害、難聴の通級指導教室及び難聴特別支援学級を担当する教員を対象に実施しました。これからの通級指導等に不安を抱えている受講者が多くいましたが、各障害種の経験豊富な講師から基本的な教室経営、在籍学級との連携の仕方、具体的な指導方法等を学び、これからの取組に見通しをもつことができる有意義な研修となりました。今後は、各自が学校で実践研修を進め、10月の研修3日目では、発表・協議をとおして実践力を高めます。

受講者の声

- ・通級学級でやるべきことが見えてきた。講師の先生から頂いた全部の資料が宝物です。
- ・文献を読んでも分からないことが、今日の講義で分かった。通級は専門性が求められるものであるため、今後もこのよう講義が必要だと思った。

講師による講義



これから受講可能な研修・講座

以下の研修は、**勤務校等で研修動画を6月2日から10月31日の間に視聴**するオンデマンド型の研修です。**申込は不要**ですが、**受講方法については、6月2日に別途通知**します。

研修番号 28-1 単元デザイン講座Ⅰ（理論編）

対象：小・中・高・特別支援学校教諭

内容：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「単元デザインシート」の活用と単元デザイン構想

研修番号 79 「いじめ」の理解と対応講座

対象：小・中・高・特別支援学校教諭等、実習助手

内容：学校におけるいじめ問題への対応のポイント、いじめの捉え方と予防

研修番号 93～95 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座

対象：小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手

内容：校種により異なります。

高…発達障害のある生徒の指導支援、合理的配慮、校内研修・授業研究の進め方

小・中…特別支援学級の教育、障害のある児童生徒に対する指導と評価、自立活動

特…特別支援学校の教育、自立活動の指導、学校の地域におけるセンター的機能

研修番号 99-1 校内ICT活用促進講座Ⅰ（理論編）

対象：小・中・高・特別支援学校教諭

内容：学校におけるICT活用の現状と課題、校内におけるICTの効果的な活用、授業におけるICTの活用（校内研修の改善）

研修・講座の修了通知について

令和5年4月1日より、「研修履歴の記録」が始まりました。今年度から、当センターで実施した研修・講座を修了（完了）後、受講を修了（完了）した証明を通知します。なお、通知方法は以下の通りです。

1 教職6年次研修、中堅教諭等資質向上研修 → 所属長（学校代表）に通知

3月上旬に、所属長または所属校の学校代表アドレスに、研修修了のデジタル証明書（PDF）をメールに添付し、送付します。

2 初任者研修、教職2年次研修 → 受講者に通知

研修最終日に「研修を振り返って」を入力、送信すると登録したメールアドレスに、受講完了通知の「返信メール」が届きます。

3 1、2以外の研修講座 → 受講者に通知

研修最終日に「研修を振り返って」を入力、送信すると登録したメールアドレスに、受講修了通知の「返信メール」が届きます。なお、受講人数に制限のないオンデマンド研修等については、課題等を提出した際の「返信メール」が受講修了の証明となります。

修了（完了）通知となる「**デジタル証明書**」や「**返信メール**」は、**受講した研修・講座を修了（完了）したことを証明するものですので、大切に保存してください。**なお、管理職から受講修了（完了）の確認を求められたときは、「デジタル証明書」または「返信メール」を提示してください。